



## 2026年7月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年6月12日

上場会社名 Link-Uグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4446 URL <https://link-u.group/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 松原 裕樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループCFO (氏名) 内藤 大貴 TEL 03 (6260) 9279  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年7月期第3四半期の連結業績（2025年8月1日～2026年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第3四半期	3,548	△3.6	241	△13.4	244	△7.0	152	25.0	139	127.4	127	△5.0
2025年7月期第3四半期	3,681	50.9	278	△12.8	263	△17.5	121	△41.9	61	△68.0	134	△47.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第3四半期	9.86	9.82
2025年7月期第3四半期	4.34	4.32

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年7月期第3四半期	5,491	2,757	2,704	49.3
2025年7月期	5,720	2,629	2,589	45.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年7月期	—	0.00	—	—	—
2026年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900～ 5,100	1.3～ 5.5	320～ 400	△2.1～ 22.3	300～ 380	△2.9～ 23.0	150～ 200	1.4～ 35.1	10.58～ 14.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) 株式会社Link-U Products  
除外 1社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年7月期3Q	14,174,100株	2025年7月期	14,172,900株
② 期末自己株式数	2026年7月期3Q	68株	2025年7月期	68株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年7月期3Q	14,173,425株	2025年7月期3Q	14,172,832株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

#### ・経営環境と経営方針について

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復したものの、金利・為替の変動や地政学リスクの長期化、物価上昇に伴う消費動向の変化など、先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループの主たる事業領域である電子書籍市場は中長期的な成長可能性を維持しておりますが、国内マンガサービス市場は競争激化に伴い、足元では厳しい状況が続き、やや下落基調で推移いたしました。こうした状況に対し、当社グループは、経済産業省が掲げる「エンタメ・クリエイティブ産業戦略 ～コンテンツ産業の海外売上高20兆円に向けた5ヵ年アクションプラン～」にも示されるように、日本のマンガ・IPが持つ海外市場の可能性に着目し、この巨大なグローバル市場の獲得を最重要課題と位置づけ、成長の軸足を海外へシフトさせるべく、事業を推進してまいりました。

当社グループは、「あらゆる価値を解放し、ココロ震える体験を世界に。」というグループパーパスのもと、自社設計のオリジナルサーバーによる圧倒的なコスト競争力と高速なデータ転送速度及び大手出版社との強固なリレーションと長期運用実績を強みとし、多くのコンテンツホルダーのDX推進パートナーとして、事業領域を拡大してまいりました。

これらの強固な基盤を踏まえ、当第3四半期連結累計期間を、グローバル市場での成長と顧客への提供価値の最大化及び生産性向上という目標達成に向けた収益構造の転換点と位置づけております。この転換を推進するため、グローバル展開の本格化、IPの強化、AIの活用推進を主要戦略としてまいりました。

#### ・事業の取組み状況について

マンガサービス事業におきましては、国内市場が成熟傾向にある厳しい環境認識のもと、国内サービスの収益維持を図りつつ、成長の軸足を海外市場にシフトいたしました。特に海外展開においては、世界最大規模のアニメブランドであるCrunchyroll, LLCと業務提携し、海外向けマンガサービス「Crunchyroll Manga」を北米にて提供を開始いたしました。これは、国内サービスで培った基盤を起点に、強固な海外流通網を通じて、IPコンテンツをグローバルに循環させる海外進出の端緒となるものです。これらの施策が奏功し、当事業全体では2四半期連続で過去最高収益を計上する原動力となりました。

制作事業におきましても、顧客のDX需要を捉えた大型開発案件を継続して受注し、2四半期連続で過去最高収益を記録するなど極めて堅調に推移いたしました。今後の収益性と競争優位性を飛躍的に高めるべく、エンジニアの役割を「AIへの的確な指示とマネジメント」へと変革させることで、AI駆動型の開発体制への移行を推進いたしました。また、自社及び外部のIPコンテンツの海外プラットフォームへの提供を拡大し、将来的な海外市場の成長を収益の柱とするべく注力しております。

マーケティング事業におきましては、重要顧客との取引縮小による影響が継続し、業績は低調に推移いたしました。今後はグループ全体の成長戦略を踏まえた事業モデルの再構築を検討してまいります。

#### ・経営成績について

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益3,548,271千円(前年同期比96.4%)、営業利益241,406千円(前年同期比86.6%)、税引前四半期利益244,843千円(前年同期比93.0%)、親会社の所有者に帰属する四半期利益139,810千円(前年同期比227.4%)となりました。

売上収益や各段階利益が変動した主な要因は、前述のマーケティング事業における取引縮小の影響によるものであります。こうした状況下において、国内市場の変化への対応やグローバル展開といった将来の成長に向けた経営基盤強化のための先行投資を実行してまいりました。当期間を将来の飛躍に向けた戦略的基盤構築期間と位置づけて取り組んできた結果、当第3四半期では、その投資が着実な成果として表れ始めております。当社グループは、この流れをさらに加速させ、中長期的な企業価値向上につなげてまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は5,491,201千円となり、前連結会計年度末と比較して229,676千円の減少となりました。

その主な要因は、現金及び現金同等物の減少494,629千円及び持分法で会計処理されている投資の増加360,834千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,733,833千円となり、前連結会計年度末と比較して357,625千円の減少となりました。

その主な要因は、借入金（流動）の減少480,667千円及び借入金（非流動）の増加244,712千円によるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は2,757,367千円となり、前連結会計年度末と比較して127,948千円の増加となりました。

その主な要因は、利益剰余金の増加139,810千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の連結業績予想につきましては、2026年3月16日に公表した「2026年7月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の連結業績予想の数値に変更はありません。今後、通期の連結業績予想に修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,654,662	1,160,032
営業債権及びその他の債権	1,128,533	1,102,672
その他の流動資産	478,406	252,044
流動資産合計	3,261,601	2,514,749
非流動資産		
有形固定資産	198,378	294,638
使用権資産	334,477	237,428
のれん	1,107,417	1,107,417
無形資産	255,143	308,218
持分法で会計処理されている投資 貸付金	45,076	405,910
	-	130,042
その他の金融資産	432,144	407,086
繰延税金資産	85,492	84,090
その他の非流動資産	1,146	1,618
非流動資産合計	2,459,276	2,976,451
資産合計	5,720,877	5,491,201

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	879,144	808,401
借入金	839,607	358,940
リース負債	145,658	147,096
未払法人所得税	9,939	61,132
その他の流動負債	170,244	155,636
流動負債合計	2,044,593	1,531,207
非流動負債		
借入金	815,204	1,059,916
引当金	54,685	54,728
リース負債	176,975	79,093
繰延税金負債	-	8,887
非流動負債合計	1,046,865	1,202,625
負債合計	3,091,459	2,733,833
資本		
資本金	477,140	477,225
資本剰余金	207,109	207,194
利益剰余金	1,765,380	1,905,190
自己株式	△135	△135
その他の資本の構成要素	139,785	115,416
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,589,279	2,704,891
非支配持分	40,138	52,475
資本合計	2,629,418	2,757,367
負債及び資本合計	5,720,877	5,491,201

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
売上収益	3,681,389	3,548,271
売上原価	1,898,751	1,766,243
売上総利益	1,782,638	1,782,027
販売費及び一般管理費	1,565,513	1,565,097
その他の収益	38,391	10,706
その他の費用	2,602	11,775
持分法による投資利益	25,791	25,546
営業利益	278,704	241,406
金融収益	1,338	21,541
金融費用	16,753	18,103
税引前四半期利益	263,290	244,843
法人所得税費用	141,596	92,778
四半期利益	121,693	152,065
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	61,469	139,810
非支配持分	60,224	12,255
四半期利益	121,693	152,065
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	4.34	9.86
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	4.32	9.82

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
四半期利益	121,693	152,065
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融資産	12,775	△24,286
純損益に振り替えられることのない項目合計	12,775	△24,286
その他の包括利益合計	12,775	△24,286
四半期包括利益	134,468	127,778
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	74,273	115,441
非支配持分	60,194	12,337
四半期包括利益	134,468	127,778

## (3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費及び償却費	192,097	217,656

(セグメント情報)

当社グループは、インターネットサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。